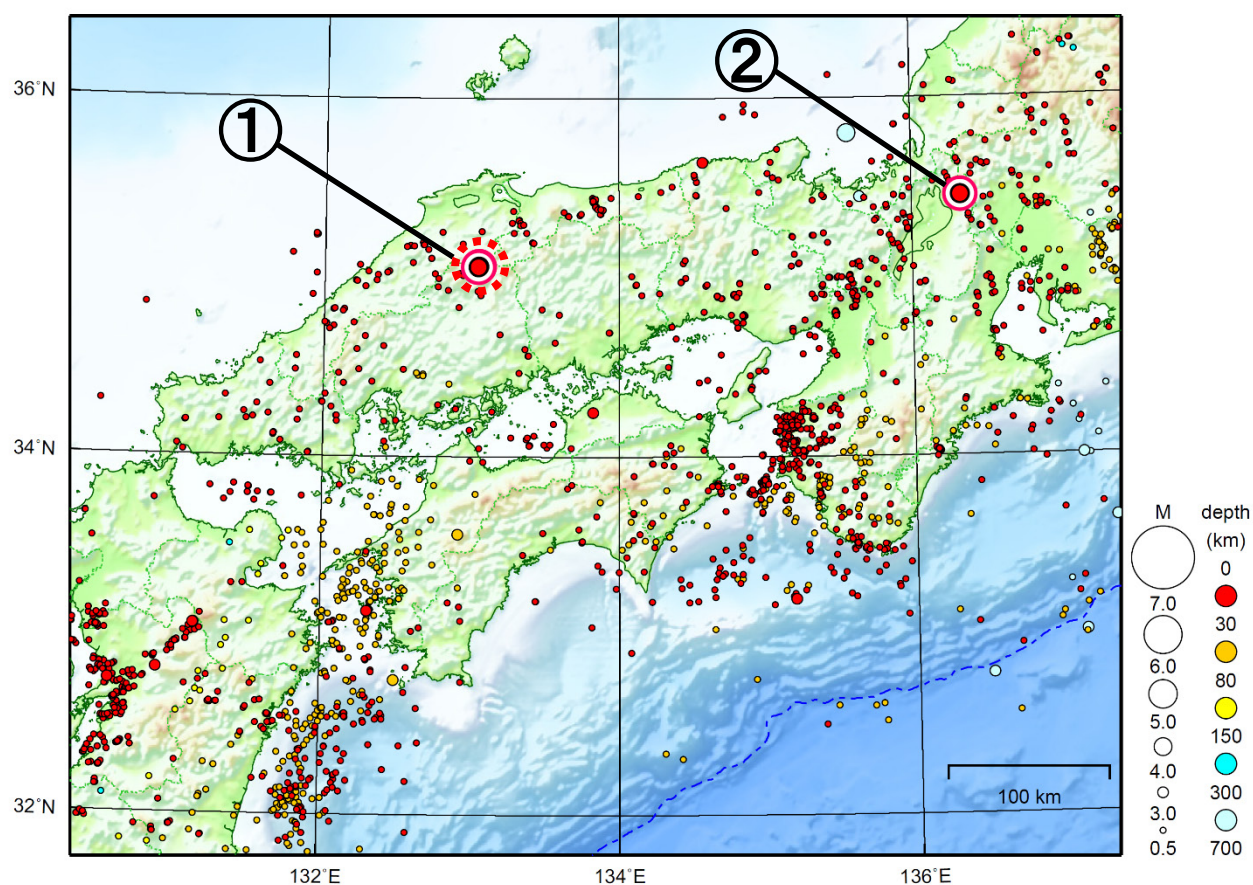


近畿・中国・四国地方

2021/08/01 00:00 ~ 2021/08/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 8月2日に広島県北部*で M4.4 の地震（最大震度 4）が発生した。
8月18日に広島県北部*で M4.3 の地震（最大震度 4）が発生した。
* 情報発表に用いた震央地名は〔島根県東部〕である。
- ② 8月16日に滋賀県北部で M4.6 の地震（最大震度 4）が発生した。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

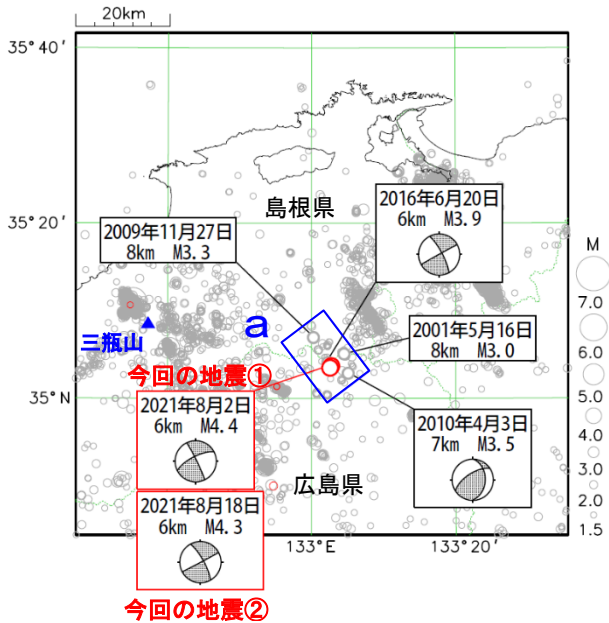
気象庁・文部科学省

8月2日、18日 広島県北部の地震

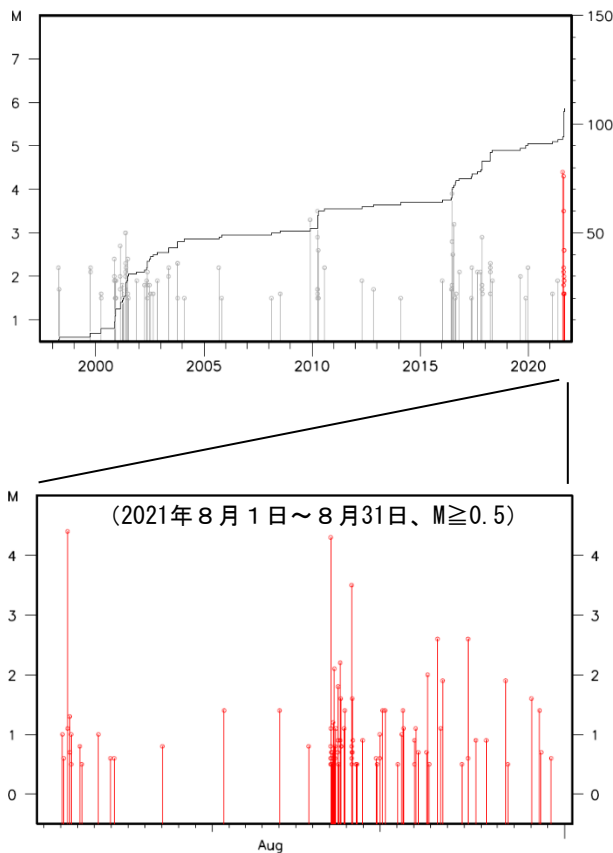
どちらの地震も情報発表に用いた震央地名は「島根県東部」である。

震央分布図

(1997年10月1日～2021年8月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$
2021年8月の地震を赤色で表示)



領域a内のM-T図及び回数積算図



2021年8月2日09時37分に広島県北部の深さ6kmでM4.4の地震（最大震度4）が発生した。また、18日01時31分にほぼ同じ場所を震源とするM4.3の地震（最大震度4）が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。これらの地震の発震機構は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。2日の地震後の地震活動はあまり活発ではなかったが、18日の地震後の地震活動はやや活発となり、19日07時15分にはM3.5の地震（最大震度3）が発生した。

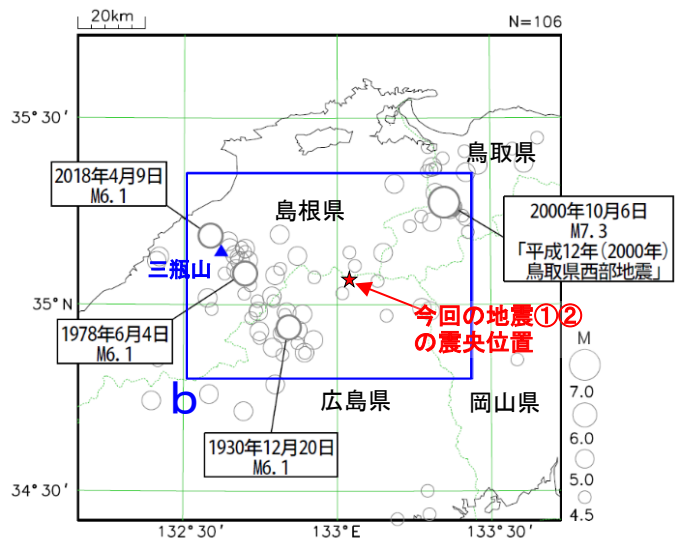
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM3.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0程度の地震が時々発生している。「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」

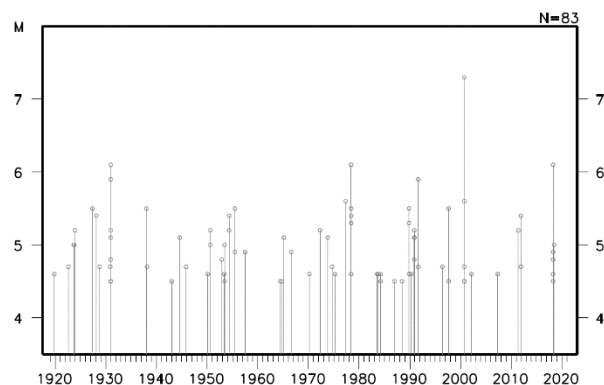
(M7.3)では、重傷39人、軽傷143人などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

震央分布図

(1919年1月1日～2021年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$
2021年8月の地震を赤色で表示)



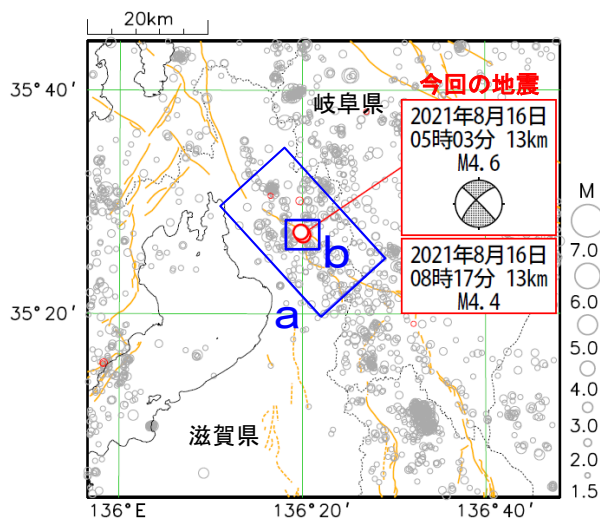
領域b内のM-T図



気象庁作成

8月16日 滋賀県北部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2021年8月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.5$
2021年8月の地震を赤色で表示)



2021年8月16日05時03分に滋賀県北部の深さ13kmで $M4.6$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生し、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。また、同日08時17分にほぼ同じ場所を震源とする $M4.4$ の地震(最大震度3)が発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では $M4.0$ 程度の地震が時々発生している。

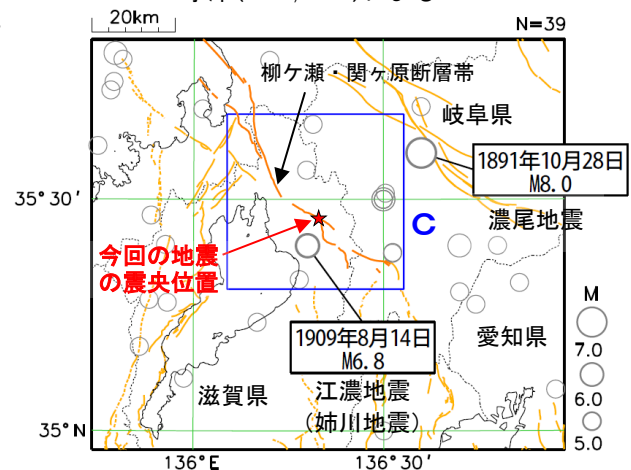
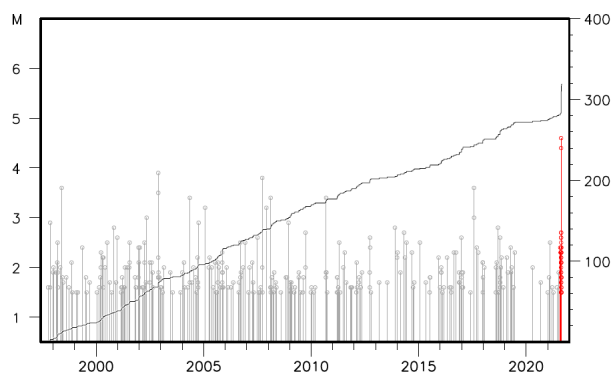
1885年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。1909年8月14日には江濃地震(姉川地震 $M6.8$)が発生し、死者41人、負傷者784人、住家全壊978棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1885年1月1日～2021年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
1885年～1918年の震源要素は、茅野・宇津(2001)、
宇津(1982, 1985)による※

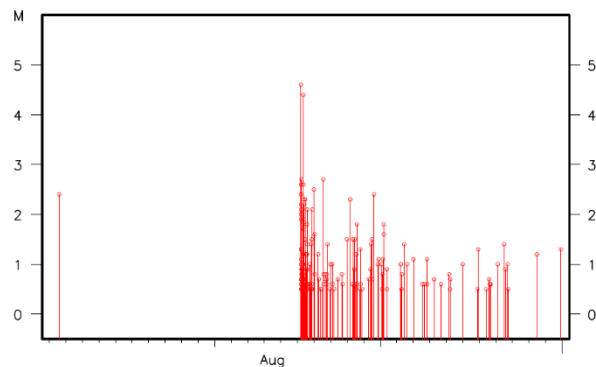
橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

領域a内のM-T図及び回数積算図

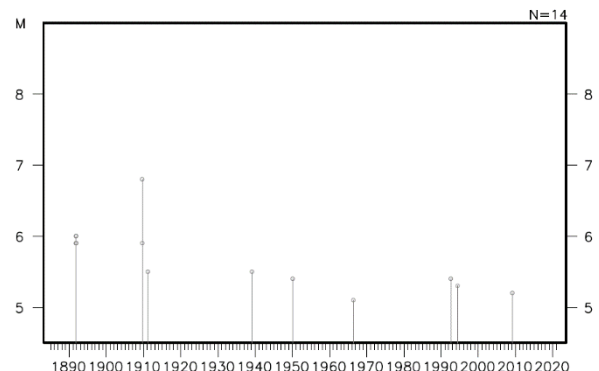


橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

領域b内のM-T図
(2021年8月1日～8月31日、 $M \geq 0.5$)



領域c内のM-T図



※宇津徳治, 日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表: 1885年～1980年, 震研彙報, 57, 401-463, 1982.
宇津徳治, 日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表: 1885年～1980年(訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642, 1985.
茅野一郎・宇津徳治, 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 2001, 657pp.

気象庁作成